

- 問1

日本は、鉄鉱石や石油などのエネルギー資源を海外から買入れ、国内の工場で自動車や電気機器といった製品に作り替えてから、再び海外へ販売する貿易を長く行ってきました。このような、原料を輸入して工業製品を輸出する貿易の形式を何といいますか。(2020年 鳥取県公立入試 類似)

1. 中継貿易

2. 自由貿易

3. 垂直分業

4. 加工貿易

問2

1960年代における大都市圏への人口集中と、それにともなう社会の変化について述べた文として、背景や因果関係が最も正しいものはどれですか。(2024年 群馬県公立入試 類似)

1. 地方での過疎化によって住宅が余ったため、大都市に住んでいた人々が住環境の改善を求めて地方へ大量に移住した。

2. 工業化の進展により都市部で働く労働力の需要が高まり、流入した人々の住環境を確保するために郊外の開発が進んだ。

3. 都市部における工業地帯が縮小したため、工場跡地を利用した大規模な公営住宅の建設が全国で一斉に始まった。

4. 第一次産業の機械化が進んだことで、農村部での雇用が急増し、都市部から農村部への人口移動が社会問題となった。

問3

2015年の宿泊者数の割合を示した統計によると、北海道は7月から9月の割合が約32％と特定の時期に突出しているのに対し、大分県は各時期とも24％から26％程度で推移しています。このように、大分県の宿泊者数の時期による差が、北海道と比べて小さくなっている理由として、最も適切なものはどれですか。(2019年 秋田県公立入試 類似)

1. 主な観光資源である温泉は、季節を問わず年間を通じて安定した観光需要があるため。

2. 冬の積雪が非常に多いため、冬の観光客が極端に少なくなるよう制限しているため。

3. 外国人観光客の受け入れを夏期のみに禁止し、国内客を他の時期に分散させているため。

4. 夏休みの時期に限定して宿泊施設の利用料金を大幅に引き下げ、客数を調整しているため。

問4

愛媛県松山市、栃木県宇都宮市、石川県金沢市の3都市の産業統計を比較した際、宇都宮市の製造品出荷額等が約2兆円弱であるのに対し、松山市は約4000億円、金沢市は約4000億円強となっています。この3都市の中で、人口一人あたりの製造品出荷額等が最も少ない都市はどこですか。(2017年 香川県公立入試 類似)

1. 高松市

2. 金沢市

3. 松山市

4. 宇都宮市

問5

2018年の日本における米の輸入について、輸入割合が約44パーセントで第1位となっている国と、約36.8パーセントで第2位となっている国の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2019年 奈良県公立入試 類似)

1. 第1位：アメリカ、第2位：中国

2. 第1位：タイ、第2位：オーストラリア

3. 第1位：アメリカ、第2位：タイ

4. 第1位：タイ、第2位：アメリカ

問6

世界と日本のつながりを示す統計において、1980年から2014年にかけての神戸港のコンテナ取扱量の変化について述べた文として正しいものはどれか選びなさい。(2017年 大阪府公立入試 類似)

1. 神戸港は1980年から2014年にかけて、世界最大のコンテナ取扱量を維持し続けている。

2. コンテナによる輸送は衰退し、1980年以降はパルク（バラ積み）貨物が主流となった。

3. 2014年のコンテナ取扱量は、1980年の取扱量を下回っている。

4. 2014年のコンテナ取扱量は、1980年の取扱量を上回っている。

問7

北海道の苫小牧港における貿易統計において、輸入品のうち木材チップが大きな割合を占め、輸出品では紙・パルプの取扱量が最も多いという特徴が見られます。このような、海外から原料を輸入し、国内の工場で製品に加工した上で輸出する貿易の形態を何といいますか。(2023年 長野県公立入試 類似)

1. 垂直分業

2. 加工貿易

3. 中継貿易

4. 自由貿易

問8

1960年から2010年にかけての日本の世帯あたり月間平均支出の推移を調査したとき、消費支出全体に占める食料費の割合の変化について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。(2017年 徳島県公立入試 類似)

1. 1960年から2010年にかけて、生活水準の向上にともない、食料費が消費支出全体に占める割合は常に50パーセントを上回っている。

2. 2010年の消費支出は1960年当時よりも減少しており、それに比例して食料費が占める割合も低くなっている。

3. 2010年は1960年と比べて、消費支出全体の額は増えているが、消費支出に占める食料費の割合は低くなっている。

4. 消費支出全体は1990年まで増加しているが、食料費の支出額そのものも1990年に最高額となり、その後も割合は上昇し続けている。

問9

日本各地では、古い蔵造りの建物が並ぶ街並みを維持するために、2007年などに自治体が独自の決まりを制定する動きが見られます。このような歴史的な街並みを維持・管理し、地域の活性化につなげようとする取り組みの目的として最も適切なものはどれですか。(2018年 山形県公立入試 類似)

1. 古い建物をすべて取り壊し、近代的な高層ビルを中心とした大規模な再開発を行うため。

2. 地域固有の景観を維持し、それを観光資源として活用することで地域経済の振興を図るため。

3. 伝統的な建築様式を制限し、全国一律の効率的な都市整備を促進するため。

4. 歴史的建造物の機能を停止させ、居住者を立ち退かせて博物館としてのみ利用するため。

問10

世界の「環境・科学技術」をテーマにした学習において、国別のインターネット普及率の変化を時系列で示した統計資料を活用して考察を行うこととしました。この資料が示す通信情報技術の進歩と、それに伴う現代社会の変化について述べた文として、最も適切なものはどれか選びなさい。(2017年 京都府公立入試 類似)

1. インターネット普及率の高まりは、日本銀行が景気変動に合わせて行う金融政策の内容によつてのみ決定されるようになった。

2. 通信情報技術の向上により、国境を越えた膨大な情報のやり取りが瞬時に可能となり、経済や文化のグローバル化を加速させた。

3. 通信インフラの整備が遅れている地域ほど、情報の入手が容易になるため、先進国との経済格差が完全に解消された。

4. 地球温暖化などの環境問題を解決するため、すべての国でインターネットの利用時間を制限する国際的な条約が義務付けられた。

問11

2015年の統計によると、岐阜県中津川市では昼間に市内に滞在する人口が77,807人であるのに対し、夜間に市内に居住している人口は78,883人となっています。このように夜間に居住する人口が昼間に滞在する人口を上回っている要因として、最も適切な説明はどれですか。(2020年 広島県公立入試 類似)

1. 市外からの観光客が宿泊を伴わずに昼間だけ訪れる割合が、前年に比べて急増したため。

2. 市外から通勤や通学で流入する人よりも、市内から市外へ通勤や通学で流出する人の方が多いため。

3. 市内の出生率が死亡率を大幅に上回っており、自然増による人口増加が著しいため。

4. 市内の高齢化が進み、生産年齢人口に代わって年金生活者が周辺地域から移住してきたため。

問12

静岡県の茶畑の風景を見ると、平坦な土地よりも、山の斜面などの傾斜地に沿って規則正しく茶の木が植えられている様子が多く見られます。このようにあえて傾斜地を利用して栽培が行われる理由として、茶の生育特性を考慮した説明はどれですか。(2017年 山形県公立入試 類似)

1. 日当たりを制限することで、茶の葉に含まれる渋み成分を抑えるため

2. 土地の保水力を高めることで、夏場の乾燥による枯死を防ぐため

3. 標高を高くすることで、茶が好む冷涼で厳しい気候環境を作るため

4. 雨水が滞留するのを防ぎ、根が腐らないよう水はけを良くするため